

発行
原町地区社会福祉協議会
責任者：片平敬治

原町杜協だより

- ▶ 認知症!? オレンジリング?
- ▶ 原町地区社会福祉協議会 会長の挨拶

- ▶ 認知症早期発見チェック
- ▶ 令和4年度収支決算概要報告 特別協賛会員の紹介 など

認知症!? オレンジリング?



皆さんは、オレンジリングをご存じですか。厚労省が2003年(平成15年)「認知症を知る1年」のキャンペーンの一環として地域や職域において認知症を理解し、認知症の人や家族を支援する人を養成する『認知症サポーター等養成事業』に始まります。

始まってから十年後の2014年(平成26年)には、それまでの養成者が611万人に達していましたが、「新オレンジプラン」で、認知症の人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現に向けた

取り組みとして、認知症の方々を理解し、暖かく見守り、支援する人を、認知症サポーターとして養成を行い、その目標を2020年(令和2年)までに1200万人としました。その結果2019年(令和元年)1260万人ほどの方が研修を受けられ90分の講座修了者に対してサポーターの証となる「オレンジリング」が交付されたのです。

又、2019年(令和元年)からは、認知症高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活するために人と関わる機会が多いことが想定される、小売店金融機関公共交通機関等の従業員向けの認知症サポーター養成講座も実施されており2025年(令和7年)までに400万人の養成をするという目標を掲げて、認知機能が低下しても地域で自分らしく日常の生活を送れる社会を目指して、サポーターの数を増やしています。



片平敬治会長

ごあいさつ 原町地区社会福祉協議会 会長 片平敬治

原町地区の皆様におかれましては、ご健康にて日々お過ごしのこととお察し申し上げます。また日頃より、原町地区社会福祉協議会の活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

コロナ禍が起きてから3年目になりますが、発祥前まで地区杜協活動の一環として独り暮らし高齢者や高齢世帯で要介護者等の方々を包括支援センターと原町ボランティアグループの皆様のご協力を頂きながら、市民センターで昼食会などの支援活動を行ってきたことが走馬灯のように思い出されます。

さて、私事になりますが、原町地区杜協の会長職を引き受けてから今年で、12年目、年齢的にも84歳となり、令和4年1月初めに軽い脳梗塞を発症致しました。現在、会長のやるべき実務作業を、原町地区杜協関係者にお任せの状況にありますので、今年度いっぱいにて会長職を退任することといたしました。原町地区の皆様には、今年まで大変お世話になりましたこと、心より御礼申し上げます。

認知症早期発見チェック

もの忘れが気になりはじめたら
チェックしてみましょう

1	財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがありますか。	ある
2	5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか。	ある
3	自分の生年月日がわからなくなることがありますか。	ある
4	今日が何月何日かわからないときがありますか。	ある
5	自分のいる場所がどこかわからなくなることがありますか。	ある
6	道に迷って家に帰ってこれなくなることがありますか。	ある
7	電気やガスや水道が止まってしまったときに、自分で適切に対処できますか。	できない
8	1日の計画を自分で立てることができますか。	できない
9	季節や状況に合った服を自分で選ぶことができますか。	できない
10	一人で買い物はできますか。	できない
11	バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できますか。	できない
12	貯金のおし入れや、家賃や公共料金の支払いは一人でできますか。	できない
13	電話をかけることができますか。	できない
14	自分で食事の準備はできますか。	できない
15	自分で、薬を決まった時間に決まった分量のむことはできますか。	できない

地域包括ケアシステムにおける認知症アセスメント(DASC-21)をもとに選択肢を簡略化してあります。

©栗田主一 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所

あてはまる項目があり、気になった方は、
早めに相談機関や医療機関に相談してみましょう。



でも、とても心配、病院といっても…と悩まれる方は、
包括支援センターへご相談ください。
話を整理してみましょう。

相談窓口

- 宮城野地域包括支援センター 022-355-2381
- 認知症の人と家族の会 宮城県支部 022-263-5091 (月～金：9～16時)
- 認知症の方を介護する家族交流会 022-291-2111 (年8回実施：宮城野区役所障害高齢課)
- おれんじドア(認知症本人による窓口) 070-5477-0718 (月～金：10～15時)



こんにちは!宮城野地域包括支援センターです。包括支援センターとは、高齢の方々が住み慣れた地域で安心して生活し続けられるよう、様々な支援を行う相談窓口です。

認知症への理解を深めるために、様々な活動をしています。
少し紹介させてください♪

認知症になっても安心して暮らせる 町づくりを目指して



認知症カフェ



認知症についてグループで話をしたり、軽い運動や脳トレなど、参加者同士で交流できる内容で実施しています。

認知症の勉強会



お医者さんを講師にお呼びして、参加者の認知症に関する質問に答えてもらいました。

認知症の家族交流会



認知症の方を介護している、もしくはしていた方を対象に経験や悩みなどを共有しました。

認知症に『備え』ましょう!

「認知症にならないためにはどうしたら?」

という質問をされることがありますが、

「これをしていれば認知症にならない」
ということはありません。

令和元年時点で65歳以上の6人に1人が認知症であるという統計(厚労省より)が出ています。

今や認知症は誰がいつなってもおかしくありません。

地域、友人との
繋がりを大切に
しましょう!

認知症について
正しく理解
しましょう!



「物忘れ」「探し物」・・・など、少しでも気になることがあれば、
周りや包括支援センター、病院に相談しましょう。早期発見を!

令和4年度収支決算の概要

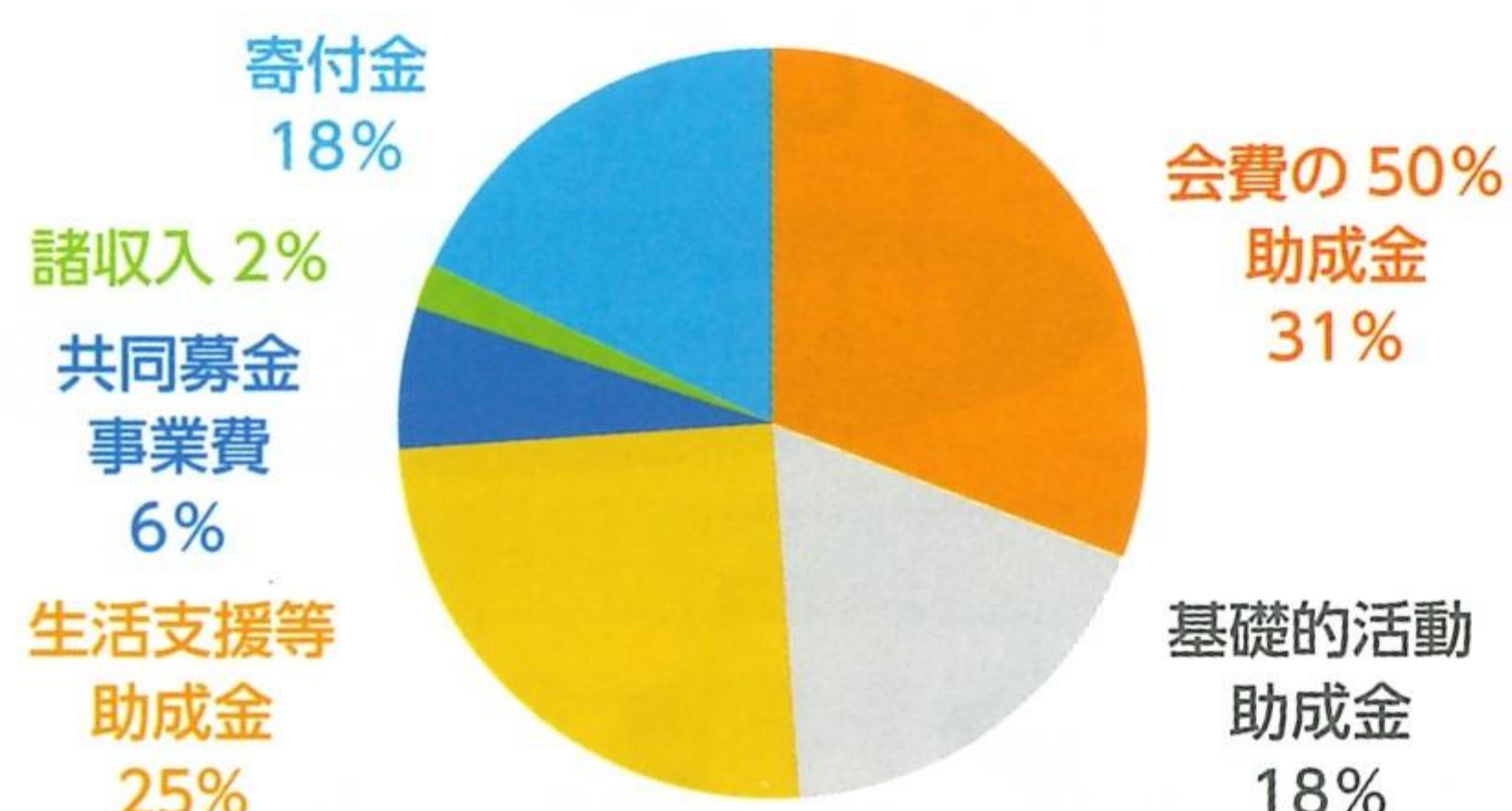
令和4年11月時点報告

今年度、各町内の皆様のご協力により前年度とほぼ同等の727,000円を、市社協へ納付させていただきました。収入としては、市社協より873,500円の助成を受けました。また、今年原町ボランティアグループが解散されたことにより剰余金214,727円を、寄付金として計上させていただきました。結果収入総額は、前年決算比で124%となりました。

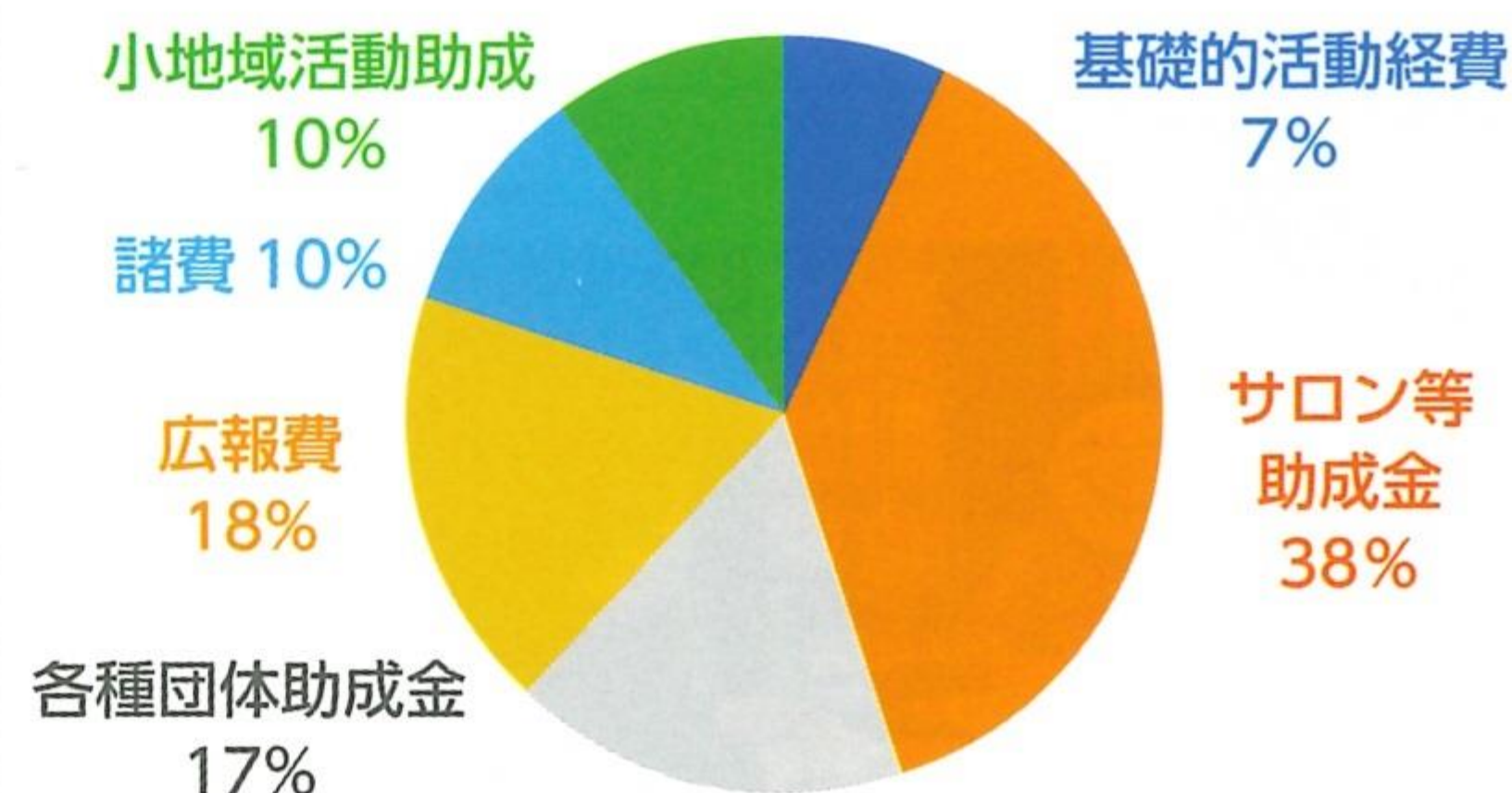
支出については、コロナ禍のため種々の研修行事が中止となりましたが、サロン活動の再開、小地域活動として助成が増えた結果前年比で120%程となる見込みです。

その中で本年度も防犯カメラへの5年目の100,000円を、年度末に支出する予定です。

収入金額 1,180,000 円



支出金額 993,000 円



特別賛助会員 令和4年度原町地区社会福祉協議会

原町地区の皆様がいきいき暮らせる福祉のまちづくりに、ご協力ありがとうございます。特別賛助会費のご協力いただいた方々を、下記にて、ご紹介するとともに深く感謝申し上げます。

【五十音順 敬称略】

- | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| * 石川淳一 | * 遠藤良信 | * 岡修一郎 | * 小野寺裕子 | * 小畑栄子 | * 片平敬治 |
| * 片平千草 | * 加藤喜久男 | * 亀すみ子 | * 北畠澄子 | * 北畠千晴 | * 齋藤光子 |
| * 佐藤えみ子 | * 佐藤清子 | * 佐藤芳子 | * 穴戸雅子 | * 白木勝子 | * 菅原朋美 |
| * 鈴木ナホミ | * 瀬戸祐子 | * 高橋和江 | * 高畑信子 | * 千葉史明 | * 千葉正則 |
| * 千葉八尋 | * 糠澤永子 | * 長谷川義昭 | * 日吉昌美 | * 福井 均 | * 堀籠宜雄 |
| * 松原敏雄 | * 守谷美恵子 | * 八島恵美子 | * 山田 稔 | * 横尾みどり | * 横山ふじ子 |
| * 渡辺義彦 | | | | | |

地区社協こと…原町地区社会福祉協議会です。

コロナウイルス感染も5年目、ひと頃の緊張感も薄くなり、ウイズコロナの生活が営まれるようになりました。

それでも、今年も昨年に続きサロン活動や町内会活動、福祉団体活動などは、コロナ感染症対策の配慮を継続しなければなりません。

今回の「社協だより」では皆様と身近な関心事である「認知症」にスポットをあて特集を組みました。認知症は誰にも起こりうる脳の病気によるものです。

他人ごとではなく、自分のこと、家族のこととして、関心をもつきっかけになってもらえればと願います。

赤い羽根共同募金は地域ネットワークや町内会の実施事業等に活用されます。

皆様のご協力まことにありがとうございます。



印刷

株式会社 仙台紙工印刷
 仙台市宮城野区苦竹3丁目1-14
 TEL (022) 231-2245 (代)
 FAX (022) 231-2247